

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37865
事業名	算数に「ご」プロジェクト事業費					
評価担当課	所属名	教) 学校教育部 教育推進課				
	課長名	伊達 峰史	担当者名	三浦 敦司	電話番号	011-211-3891
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	全市立小学校の5・6年生における算数少人数指導の実施と札幌市独自カリキュラムの効果的な活用。			
		長期	小学校高学年算数において25人程度の少人数による指導を行うことにより、学習への意欲や論理的思考力を高める。			
	取組内容	課題探究的な学習の充実の一環として、小学校高学年の算数を対象に、25人程度の少人数による指導を行うことで、学習への意欲や論理的思考力を高める。				
	実施結果	課題探究的な学習の充実の一環として、小学校5・6年の算数を対象に、25人程度の少人数による指導を市内全校で実施した。令和3年度は、新たに導入されたChromebookに対応したカリキュラムの整備を行った。各学校に措置された非常勤講師の相談役及び連絡調整役として専任講師13名を委任し、各学校からの相談・問合せに対応するとともに、各区ごとに、非常勤講師の研修会を実施した。令和3年12月に学校を対象とした実施状況の調査、令和4年2月に児童を対象とした実現状況の調査を行った。				
事業実施における工夫点	課題探究的な学習をより充実させることを目的として、各学校で取り組んだ好事例を研修会や公開授業等を通して周知するとともに、非常勤講師のとりまとめ役としての「ご」専任講師による非常勤講師を対象とした研修の場を位置付け、事業を円滑に推進していく。					
対象者	市立小学校の5・6年生	開始	平成28年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	教育支援体制整備事業費補助金(補習等のための指導員等派遣事業)交付要綱					
他都市の状況	類似事例は把握していない					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	269,575	279,000	273,418	300,000	
うち特定財源	34,343	20,868	34,259	34,984	
人工	3.0	3.0	3.0	3.0	
人件費	21,600	21,600	21,600	21,600	
計(事業費+人件費)	291,175	300,600	295,018	321,600	
事業費の内訳	令和3年度決算	・時間講師 報酬 245,687千円 ・時間講師 期末手当 8,657千円 ・時間講師 共済費 9,223千円 ・時間講師 交通費 9,851千円			
	令和4年度予算	・時間講師 報酬 266,967千円 ・時間講師 期末手当 9,973千円 ・時間講師 共済費 10,249千円 ・時間講師 交通費 12,811千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	小学校5・6年生における算数少人数指導実施校の割合			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	100	100	100	100	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	—	80	80.8	80	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	1グループ25人程度になるよう各学校に非常勤講師を措置し、全市立小学校において5、6年生における算数少人数指導の実施を行うことができたこと、また、新たに導入されたChromebookに対応したカリキュラムの整備ができたため。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市立小学校全197校において、5、6年生の算数を対象に25人程度の少人数による指導を行うことができたため。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各学校に措置された非常勤講師の相談役及び連絡調整役として専任講師13名を委任し、各学校からの相談・問合せに対応するとともに、各区ごとに、非常勤講師の研修会を実施できたため。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	児童を対象とした実現状況の調査において、肯定的な意見が多く見られることから、一定程度の満足を得られたと認識。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	本来の目的である学習への意欲や論理的思考力を高めることに対することについては、まだまだ工夫・改善の余地を残している。 また、令和6年度には5年生、令和7年度には6年生が35人学級となることや、教科担任制推進加配などの国の動きを踏まえながら、本事業をどのように進めていくか、これまでの取組にとらわれない柔軟な改善が求められる。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかった、非常勤講師の研修会を実施したり、成果検証に向けて、学校を対象とした実施状況の調査、児童を対象とした実現状況の調査を行ったりできたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 事業の本格実施5年目を迎え、より円滑な実施に向けた推進を行う。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 事業の運営に必要な講師数に伴う多少の増減はあるものの、おおよそ同程度となる見込のため。		見直し効果額	0